

令和5事業年度

決算報告書

自：令和5年4月1日

至：令和6年3月31日

国立大学法人島根大学

令和5年度 決算報告書

国立大学法人 島根大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,242	10,614	372	(注1)
施設整備費補助金	637	1,054	417	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	956	1,696	739	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	—	15	15	(注4)
自己収入	26,861	26,652	△ 208	
授業料、入学金及び検定料収入	3,565	3,340	△ 225	(注5)
附属病院収入	23,048	22,931	△ 117	(注6)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	247	381	133	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,680	1,963	283	(注8)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	449	389	△ 60	(注9)
引当特定資産取崩	—	77	77	(注10)
計	40,824	42,459	1,635	
支出				
業務費	36,587	35,992	△ 595	
教育研究経費	14,619	13,816	△ 802	(注11)
診療経費	21,969	22,176	207	(注12)
施設整備費	637	1,069	432	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	956	1,449	492	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,680	1,534	△ 145	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	964	947	△ 18	(注16)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	40,824	40,991	167	
収入-支出	—	1,468	1,468	

※記載金額については、百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計があわない場合があります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、授業料等免除枠及び年俸制導入促進費の追加交付並びに補正予算の措置により、予算額に比して決算額が372百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していなかった補助金の交付があったため、予算額に比して決算額が417百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で予定していなかった補助金等の交付があったため、予算額に比して決算額が739百万円多額となっております。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が247百万円含まれており、当該補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、予算段階で予定していなかった施設費交付金の交付があったため、予算額に比して決算額が15百万円多額となっております。
- (注5) 授業料、入学金及び検定料収入については、新制度(授業料等減免費交付金)による授業料免除等に伴い、予算額に比して決算額が225百万円少額となっております。
- (注6) 附属病院収入については、予算段階で想定していた入院患者数に対し実患者数が減少したため、予算額に比して決算額が117百万円少額となっております。
- (注7) 雑収入については、予算段階で予定していなかった応援金の受入等により、予算額に比して決算額が133百万円多額となっております。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究費等の受入額の増加により、予算額に比して決算額が283百万円多額となっております。
- (注9) 目的積立金取崩については、施設整備費の減少等により、予算額に比して決算額が60百万円少額となっております。
- (注10) 引当特定資産取崩については、医療機器の更新に伴い引当特定資産を予算化したため、予算額に比較して決算額が77百万円多額となっております。
- (注11) 教育研究経費については、人件費及び退職手当の減少等により、予算額に比して決算額が802百万円少額となっております。
- (注12) 診療経費については、光熱費高騰及び高額医薬品適用患者の増加に伴う医薬品費の増等により、予算額に比して決算額が207百万円多額となっております。
- (注13) 施設整備費については、(注2)に記した理由により、予算額に比して決算額が432百万円多額となっております。
- (注14) 補助金等については、(注3)に記した理由により、予算額に比して決算額が492百万円多額となっております。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、次年度への繰越等により、予算額に比して決算額が145百万円少額となっております。
- (注16) 長期借入金償還金については、借入金利率の変更等により、予算額に比して決算額が18百万円少額となっております。